

令和6年10月30日

草刈り班長 各位

(公社)安曇野シルバー人材センター
安全就業委員長 小林 真巳

安全就業の徹底について(お願い)

班長各位におかれましては、常日頃から安全就業に取り組んでいただいております。誠にありがとうございます。

さて刈払機による飛び石物損事故「9月27日:給湯器配線切断事故」、「9月30日:会員所有軽トラックリアガラス破損事故」が発生しております。

過日、事故調査委員会を開催し、事故原因及び再発防止策を取り纏めましたので、内容ご確認の上班員の皆さんへチラシを配布いただき、安全就業の更なる徹底をお願いいたします。

9月27日発生

◆事故原因

- ・作業現場の注意箇所確認が不徹底だった。
- ・以前作業を行った現場なので、慣れてしていると過信があった。

◇再発防止策

- ・作業前に発注者と作業会員とで作業現場の注意箇所の確認を行う。
- ・事故が予測されるような作業場所では、除草剤使用作業も検討する。
- ・作業前ミーティングにより安全作業上の注意点を確認しよう。

9月30日発生

◆事故原因

- ・被害車両が作業場所の近くに駐車してあった。
- ・被害車両と十分な距離を取らなかった。
- ・飛び石防止用ネット等使用した事故防止をしていなかった。

◇再発防止策

- ・車両を作業現場から15m以上遠ざけて駐車する。
- ・作業前に十分に作業場所の安全確認や周囲の状況把握を行うこと。
- ・どうしても作業場所に近づけて駐車する場合は、自己防衛措置を図る。(ブルーシート等で車体、ガラス面を覆う。)
- ・作業前ミーティングにより安全作業上注意点を確認しあう。

重点目標

『事故絶滅と安全就業、基本に基づいた作業の徹底、交通事故防止』

安全作業の徹底をお願いします。

飛び石事故防止対策の徹底を！

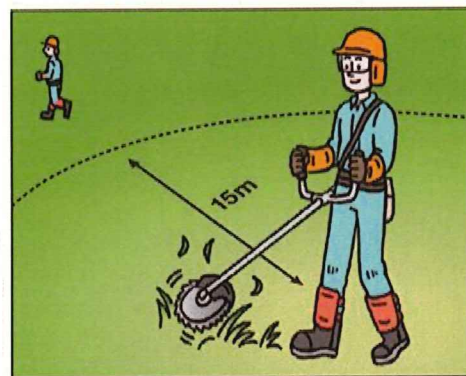
当シルバー人材センターにおいて、除草作業に伴う飛び石事故は令和4年度3件、令和5年度2件発生し、令和6年度は9月末時点ですでに6件発生しております。

安全就業委員会の懸命な努力にも関わらず事故の発生件数は依然として高い水準となっています。

発生場所は、駐車場、公園、住宅地等広範囲で、これら駐車場や隣接地に停めてある車の窓ガラス、家屋の窓ガラス等を損壊するケースが多くなっています。

特に走行車両への飛び石は人命に関わる場合もあるため、事故防止対策を確実に実施しましょう。

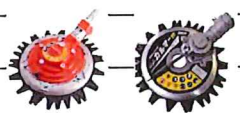
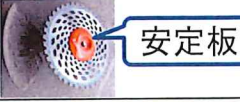




※当センターでは、石が飛びにくい刈払い機用チップソー「商品名：石トバサズ」を斡旋しています。購入希望の会員様は安曇野シルバー人材センターへ申し込みください。



(一社)日本農業機械工業会発行「刈払機の正しい使い方」より

飛石の総合対策

低速上下刃逆回転ハサミ刈草刈刃

原因への対策		具体的に		
1	用具	バリカンを使う	「カルマー、無双ツインブレード」を使用する	
		地面に 接触させない	紐を使わない、チップソーは「安定板」を使う	
2	準備	工夫されたチップソーを使う	小径のチップソー径230mmを使用する「プロテック」など飛散の少ない物にする	
		小石を 取り除く	作業前に竹ぼうきで アスファルトを掃く	
		破損し易い物を 移動 させる	◎ 周囲を手刈り する ○車・キャブタイヤ電線・ホースを 移動 させる	
3	手順	破損し易い物を 防護 する	◎窓ガラス・壁や車に、ブルーシート・葦簀・段ボール・板で 養生 する ○ 防護ネット・板 を持つ人と、 溝転落・風のあおり に協調する	
		低回転 にする	エンジン音を低く して、6000rpm以下で、 目標5000rpm にする	
		チップソーを地面に 接触させない	チップソーを平地は 水平に振る 。 草丈5cm程度に高刈り する。 肩掛け式刈払機 を使用する	
		破損し易い方向に 石を飛ばさない	窓ガラス等が右側になる様に 刈り取り方向 を作業計画・手順を定め、左右の 刈り振幅を90cm に小さくする	
	手刈りする	鎌を使う		

片山安心コンサルタント合同会社

草刈り飛散・破損防止

要因	要素	効果
人・技能 (MAN)	①危険部分の 手刈り ②石(地面)に 接触 させない ③ 回転数 を下げる ④ 振り幅 を狭める	・刈払機の事故は無い ・飛び石をさせない ・飛石の威力を減らす ・危険部分は 振り幅90cm にしする ・半歩づつ前進し、 腰を入れて振る
機械・ 刈払機 (MACHINE)	⑤排気量26cm ³ 前後 ⑥エンジン 低回転 ⑦紐を使わない ⑧ バリカン を使う	・回転を抑えながら刈払いできる ・ 毎分6000回転以下 に、目標5000回転にする ・飛散する道具を使わない ・飛散が少ない道具を使う
材料・部品 (MATERIAL)	⑧ 低飛散チップソー ⑨チップソーに 安定板	・チップソーは外径255mmを基準に、 小径230mmは最良 だが、効率悪い ・地面への接触を減らす 安定板
方法・計画 (METHOD)	⑩下見して作業計画を立てる ⑪左右に 振幅狭く する ⑫ 防護ネット・養生 する	・窓ガラス等が右側になる様に 刈り取り方向 を定める(手順) ・小さい 振り幅90cm は、飛石方向が絞られる ・ 直接、飛石・刈刃 を物に当てない様、 養生 する

片山安心コンサルタント合同会社

ネット、ベニヤ板、他

一. 刈払機の振り幅・高さ

チップソーの振り幅と高さを意識し、回転数を約6000rpmにする



チップソーの先に有るこぶが、接触物の飛散方向を散らす

振り幅を小さくすると、この範囲で刈払いできる

カバーの取付位置

最新の物はカバー取付位置表示が有った

チップソーを水平に、地面と接触を減らす為の「安定板」

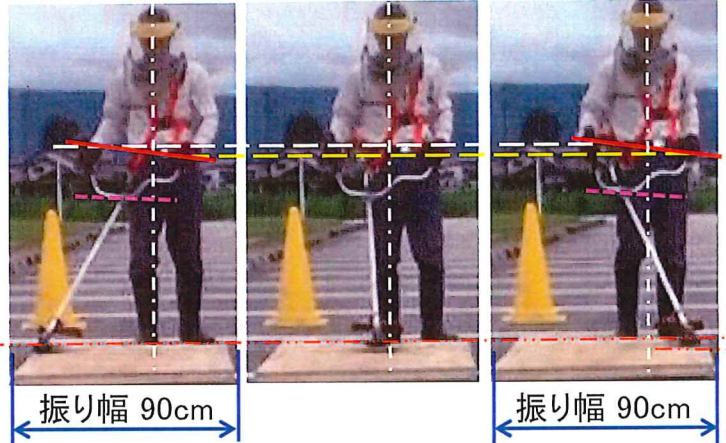


片山安心コンサルタント合同会社

出来るだけ水平を意識してコンパネ横幅90cmで振る



平面は、チップソーを水平に振って飛散を減らす



振り高さ

二. 肩掛け式、平面の刈払

1. 脇を締め、足の踏出や上半身の捻りを使う

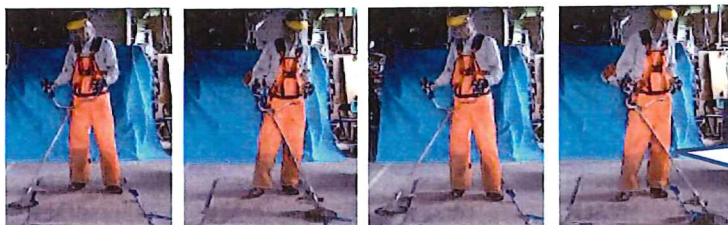
振り幅180cm(振り角度90度)



片足づつ半歩前進して行く

チップソーの面は、地面に対して水平を保つ事を意識する

2. 上半身(腰)の捻りで振り幅コンパネ横幅90cm(角度50度)



意識して、自身の右足を踏み出した時、左へハンドルを振っている

片山安心コンサルタント合同会社